

1. 野々市市第二次総合計画の策定に向けた市民ワークショップ
 <ののいち まちづくりトーク> (状況報告)

以下の内容で、当初は7月に、その後、時期を再検討して9月に実施する予定をしていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、現在、実施を見合わせている。

2. 野々市市第二次総合計画の策定に向けた市民ワークショップ
 <若者みらい会議> (状況報告)

子どもたちや学生を対象に、野々市市の現状や課題を知り、まちのあるべき姿や自身の未来についてカードゲームやワークショップを通じて考える機会として夏休み中の開催を計画していたが、令和2年度の実施は見送る。

3. 野々市明倫高等学校での講演 (実施報告)

令和2年7月21日(火)に、野々市明倫高等学校の1年生約270名を対象とし、本市をテーマにした講演を行った。

野々市明倫高等学校では、講演をはじめとして本市の魅力や特徴について調べ、動画にまとめる計画であり、動画が完成した際には「高校生から見た野々市の魅力」として報告を受ける予定である。

参加者	【市民】 各回 20 名程度 (事前申込制) 【行政】 庁内ワーキンググループの職員 各回 10 名程度
日時・会場	【日時】 第1回 令和2年9月26日(土) 午後2時から4時 第2回 令和2年9月27日(日) 午前10時から12時 【会場】 にぎわいの里ののいちカミーノ ホール
目的	未来の野々市市を見据え、野々市市の魅力や課題を整理した上で、参加者一人ひとりがまちづくりの担い手としてできることや取り組みたいことについて考えてもらう機会を創出する。 また、市民が行政に求める役割や課題解決のための実現の手段を整理する。
内容	(1) 導入 総合計画の策定や市の概要、各種調査結果の説明など (2) ワークショップ「できる、やりたい、やってほしい」 ①少人数のグループに分かれる ②参加者それぞれが「自分(知人)ができること、やってみたいこと、(行政や他者に)やってほしいこと」を付箋に書き込む ③少人数のグループで共有後、会場前方の模造紙に付箋を貼る ④会場全体で、付箋の内容についてインタビューをしながら整理する

